

世の中

支配

わけ

金持



飼

小市民

心

心ふるわす危険な熱情

ミッキー・ローク



S ミッキー・ローク

M エリック・ロバーツ

A タリル・パッチ

E ジョー・パネッティ

R マックス・ド・ノイ

D バート・ヤング

E 監督 スティーブ・ロゼンバム

G 原作 脚本 デビッド・トフトロツク

A 製作 ジーン・カークウツ

L 音楽 マイケル・シャイン

L 挿入歌 マイケル・シャイン

I 脚本 ジョージ・ロウ

V MGM 配給

悪の華

パッションナイト

次回



# 悪の華 パッションナイト



一度会ったら、忘れられぬ男がいる。  
自分の生きかたにこだわり、それを貫く。  
だが、彼が通りすぎた後には、  
常に危うい悪の香りが漂い続けた。  
プロにしては優しく、アマチュアにしては辛い、  
妙に心をくすぐる気になる奴。  
信念に従い一途に友を信じ、  
あまりに恋人を愛するが故に、裏切られ傷つき、  
あてもなく彷徨い続ける。  
そんな、生きかたの流儀にこだわる純粋な男は、  
現代の偉大なるアウトサイダーなのかもしれない。

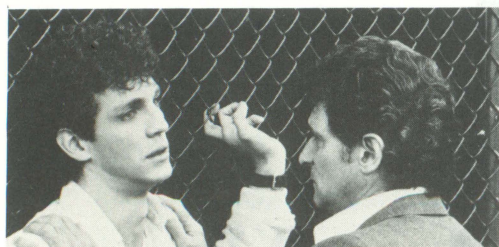
ニューヨーク、グリニッチビレッジ。レストランで支配人を務めるチャーリーは、もの静かだが激しい情熱を胸に秘めて生きている。ビジネス、ファッション、セックス……すべてに完璧なライフスタイルを持つ彼だが、時に顔をよぎる暗い影。洗練された大人の男を装いながら、どこか少年のような純粋さを棄てずにいるように、ごく普通の生活をしながら、たえず悪の華を咲かせようとするダンディズムを持ったスタイリッシュな男だ。

そんな彼を兄のように慕い、後をついてまわる男、ポーリー。自分には持ち得ないスタイルで生きるチャーリーに心酔しながらも、つつい現実の流れに身を委ね利那の快楽を追い求める。そんなポーリーの引き起こした些細な出来事が、チャーリーが願っていた悪の世界への甘美な誘いとなっていく。自分の意志ではコントロールできない悪のさだめに従って、二人の男は知らず知らずの間に闇の世界の深みにはまっていた。夢追い人のチャーリーの眼前に立ちほだかった、予期せぬ現実。チャーリーの激しさに戸惑いながらも優しさに惚れ、連れ添ってきた美しく愛しい恋人は、そんな時の流れの中で、思い出だけを残して去っていった。愛を失い、夢がまどろみかけた時、チャーリーは友のために手をさしのべ、自らの生きかたを確かめるかのよう足踏み出した。それが、彼の信じる生きかただった……。

「白いドレスの女」「ダイナー」「ランブル・フィッシュ」、そして「ナインハーフ」と一作ごとに様々な男の姿を見せ、ファンの心を虜にするミッキー・ロークが、今まではヒト味違ったスリリングでスタイリッシュなダンディズムをスクリーンに焼きつけている。ロークは一見物静かだが激しい情熱を胸に持つ生きるチャーリーという現代のアウトロー的ヒーロー像を、実にファッションブルで鮮やかに演じ、圧倒的な存在感を發揮している。彼に憧れ、兄のように慕うポーリーを、「スター80」や「暴走機関車」で強烈な印象を残した若手演技派のエリック・ロバーツが演じ、チャーリーとは対照的な男性像を人間豊かに醸し出している。これに、チャーリーに胸を焦がし同棲している恋人役で「スブラッシュ」「夜霧のマンハッタン」のダリル・ハンナ、年輩いた金庫破りバーニーに「アマテウス」「刑事ジョン・ブック/目撃者」のケネス・マクミラン、マフィアのボスのエディに「ロッキー」シリーズのバート・ヤング、刑事バンキーの母親に「バウンティフルへの旅」で昨年アカデミー主演女優賞受賞のジェラルディン・ページ、バンキーに「セルピコ」のジャック・ケホーといった豪華な役者陣がそれぞれに持ち味を發揮して好演、作品に厚みをもたらせている。

失われつつある現代のダンディズムを主人公に託して監督したのは、「暴力脱獄」「ブ

ルベイカー」「さすらいの航海」の巨匠スチュアート・ローゼンバーグ。夢を抱き、それに向かってつき進もうとする男の、夢と現実とが交錯する姿をベースに男の讃歌のドラマに仕上げている。製作は「ロッキー」のジーン・カークウッド。男のスピリットを見事に蘇らせた脚本を執筆したのは、この映画でセンセーショナルなデビューを飾ったビンセント・パトリック。ニューヨークの鼓動をリアルに捉えた撮影は、「再会の時」「普通の人々」「アメリカン・ジゴロ」の名手ジョン・ベイリー。プロダクション・デザインは、「天国から来たチャンピオン」でアカデミー賞を受賞したボール・シルバート。全編にちりばめられたスコアーを手掛けたのは、「恋におちて」のデフ・グルーシン。ダンディーな男達の装いをデザイン、コーディネートしたのは「リトル・ダーリング」のジョー・オウリーシーといったスタッフ・キャストとともに豪華な顔ぶれである。



## スタッフ

監督……………スチュアート・ローゼンバーグ  
製作……………ジーン・カークウッド  
脚本……………ビンセント・パトリック  
原作……………ビンセント・パトリック  
撮影……………ジョン・ベイリー  
プロダクション・デザイン……………ボール・シルバート  
編集……………ロバート・ブラウン  
製作補……………ベンジー・ローゼンバーグ  
衣裳……………ジョセフ・G・オウリーシー  
音楽……………デフ・グルーシン  
(VILLAGE DREAMS) MGM映画 送 / UIP配給

## キャスト

チャーリー……………ミッキー・ローク  
ポーリー……………エリック・ロバーツ  
ダイアン……………ダリル・ハンナ  
バンキーの母親……………ジェラルディン・ページ  
バーニー……………ケネス・マクミラン  
ビート……………トニー・ムサンテ  
バーンス……………M・エメット・ウォルシュ  
エディ……………バート・ヤング  
バンキー……………ジャック・ケホー  
挿入歌“サマー・ウインド”唄フランク・シナトラ

## 次回ロードショー!

◆特別鑑賞券1200円、音協特別鑑賞券1100円(会員に限り)発売中!

当劇場窓口及び松竹系劇場、都内主要プレイガイド、チケットぴあ他にてお求め下さい。

公園通り・バルコ3前

シネマライズ・渋谷 (464) 0052

日・祝 9:30 平日 11:50 2:10 4:30 6:50

●レイトショー/毎土曜日PM9:10よりレイトショー